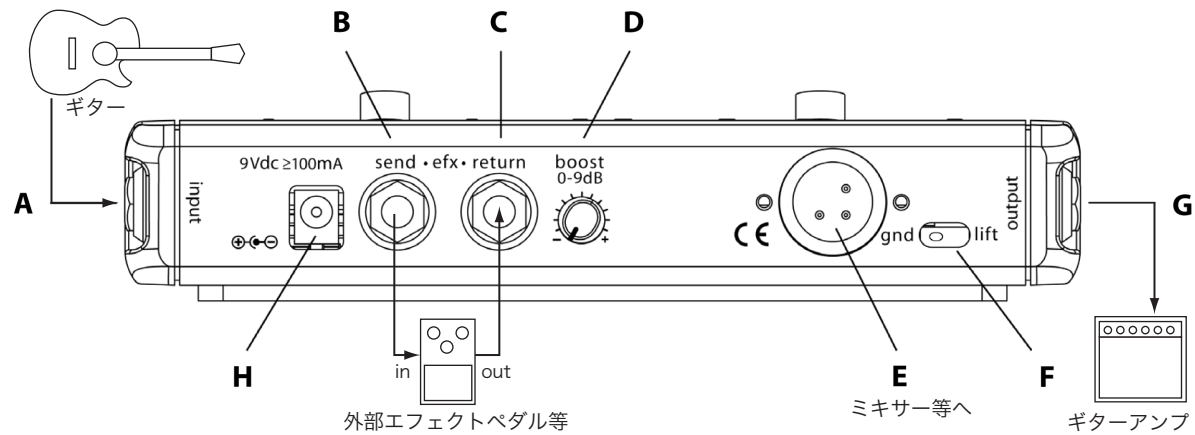




## リアおよびサイドパネル

### A input インプット

本体向かって右側にある 1/4" フォンジャックが入力ジャックです。オールディスクリートのアンバランス／モノラル入力でインピーダンスは 10MΩです。ほとんどのパッシブタイプ、アクティブタイプ、ピックアップシステムに対応します。このジャックが本体の電源スイッチも兼ねていますので、ギターケーブルのプラグを接続すると本体の電源がオンになります。使用しない時はこのジャックからプラグを抜いておいて下さい。Venue D.I. にプラグを抜き差しする時は、ポップ音を避けるため、アンプや PA の音量を落として下さい。

### B efx/send エフェクトセンド

1/4" プラグのモノラルケーブルを使い、このジャックから、外部エフェクトペダルあるいはラック機器のインプットに接続します。

### C efx/return エフェクトリターン

外部機材のアウトプットからの信号をこのジャックへ戻します。エフェクトループはシリーズ接続になります。

### D boost ブーストレベル

boost フットスイッチを押した時のブーストレベルを調節します。0dB から 9dB の間で調節できます。

### E D.I. アウトプット

バランスシグナルの出力ジャックです。マイク用ケーブルを使い、ミキサーのマイク入力へ接続します。Venue D.I. の D.I. アウトは、プロのステージやレコーディングを対象としていますので、トランスバランス方式を採用しています。一般向けの電子式バランスアウトとは違い、専用アイソレーショントランスがグランドループハムやノイズを完全にシャットアウトします。信号レベルは 0dB、インピーダンスは 600Ω以上、ロングケーブルを使っても十分なシグナルレベルを確保できます。  
注) このアウトプットシグナルは、ボリューム以外の全てのコントロールと連動しています。

### F gnd lift グランドリフトスイッチ

このスイッチを lift 側にするとグラウンドが絶縁され、複数の機器を接続した時に起こるグランドループのノイズを回避できます。

### G output アウトプット

本体向かって左側にある 1/4" フォンジャックが出力ジャックです。アンバランス型ラインレベルの信号ですから、ほとんどのアンプ、機器に出力できます。信号レベルはボリュームコントロールに依存します。

### H DC インプット

DC 電源用のインプットは、標準的なエフェクトペダルによく使われる 2mm プラグ用です。一般的なエフェクトペダル用の DC アダプターが使用できます。電圧が 7.5VDC 以上 12VDC 以内、電流 100mA 以上の規格の DC アダプターをご使用下さい。  
注) DC インプットはセンターマイナス (－) 仕様になっていますので、使用する DC アダプターもセンターマイナスのものをご使用下さい。

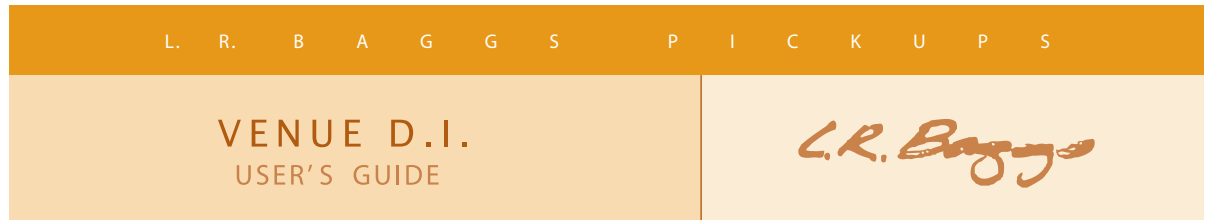
### \*バッテリー交換について

電池が消耗したら、バッテリーケースのふたにあるタブを持ち上げ、中の電池を取り出し、新品の 9 V 電池と交換して下さい。バッテリーのプラスマイナスと、ケース内のプラスマイナスを合わせ、逆に入れないように注意して下さい。

品質向上のため予告なく仕様・価格等が変更になる場合があります。

L.R.Baggs 製品に関しては最寄りのお店にお問い合わせになるか、ホームページ [www.jes1988.com](http://www.jes1988.com) をご参考にして下さい。

L.R.Baggs日本総代理店:  JES International, Inc. 470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1 TEL:0561-72-9801 mail:web@jes1988.com



このたびは Venue D.I. (ヴェニュー・ディーアイ) をお買い上げいただきありがとうございます。

この製品は、トランスバランス方式を使ったプロ仕様の D.I. アウトを備える、アコースティックギター用のプリアンプペダルです。回路は高音質を約束するフルディスクリートで構成されており、アコースティックギター用に設計されたイコライザー、+9dB までのクリーンブースト、クロマティックチューナーなど、プレイヤーの助けとなる数々の機能を備えています。

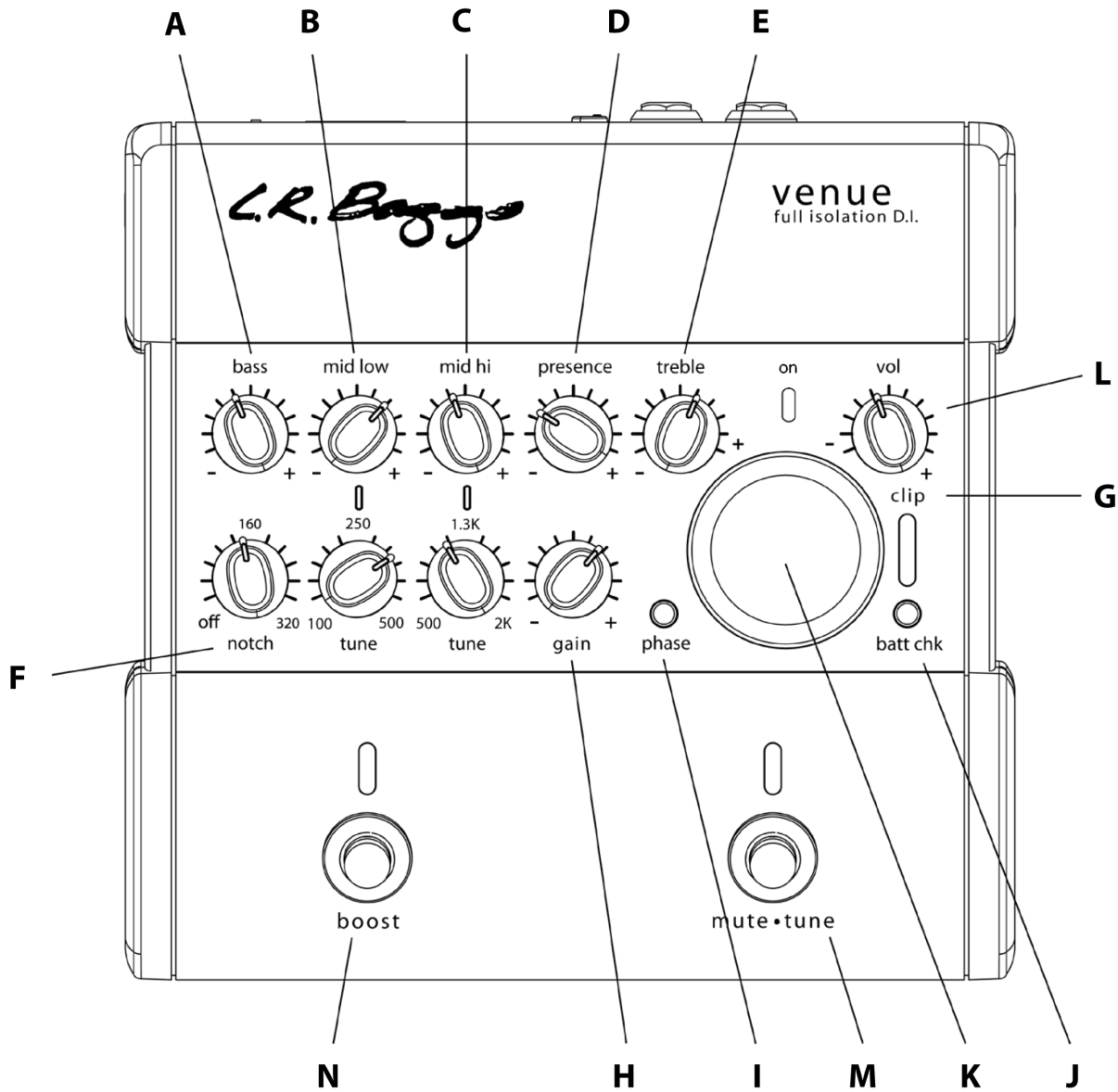
Venue D.I. の機能は使い込むほどに、その便利さ、性能の高さを感じていただけると思います。性能を十二分に楽しんでいただく為に、この取り扱い説明書をよくお読みになって下さい。

## クイックスタート

- 9V バッテリーを本体に入れるか、一般の 9VDC アダプター (100mV 以上、センターマイナス仕様) を接続します。  
注) D.I. アウトはバランス出力用です。XLR 入力やファントム電源には対応していません。
- ギターを Venue D.I. 右側のインプットジャックに接続し、出力ケーブルを左側のアウトプットジャックあるいは、背面のバランス出力用 XLR ジャックに接続します。
- Gain ノブとクリップメーターを使い、入力レベルを調節します。
- アウトプットからのケーブルをアンプ又は P.A. に接続して音を出します。各機能についての詳しい情報は、以降の説明をお読み下さい。

## 仕様

|           |                                                                                                                                                                                                        |              |                                                                                                                                                                   |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インプット：    | インプットインピーダンス：10MΩ<br>プリアンプゲイン：-12dB to +26dB<br>インプットレベル：-25dBv to +1.8dBv<br>(0.053Vrms to 1.23Vrms)                                                                                                  | D.I. アウトプット： | レベル：-1dBv(0.88Vrms) バランス<br>インピーダンス：600Ω(トランス変換型)                                                                                                                 |
| イコライザー：   | ノッチ：-21dB, 60Hz から 320Hz で可変、<br>1/8 オクターブ<br>ベース：+/-12dB@90Hz<br>ミッドロー：+/-12dB@250Hz,<br>100Hz から 500Hz で可変<br>ミッドハイ：+/-12dB@1kHz,<br>500Hz から 2.8kHz で可変<br>プレゼンス：+/-12dB@3kHz<br>トレブル：+/-12dB@10kHz | ラインアウト：      | レベル：-1dBv(0.88Vrms) アンバランス<br>インピーダンス：200Ω                                                                                                                        |
| エフェクトループ： | センドレベル：0dBv(0.707Vrms)<br>アウトプットインピーダンス：600Ω<br>リターンレベル：0dBv(0.707Vrms)<br>クリッピング前最大値<br>インプットインピーダンス：80KΩ                                                                                             | パワー：         | DC 消費電力：最大 0.65W@9V<br>DC 電流：12mA( チューナー未使用時 )<br>66mA( チューナー使用時 )<br>対応電圧：7.5VDC( 最小 ) - 12VDC( 最大 )                                                             |
|           |                                                                                                                                                                                                        | 電源：          | 9V バッテリーもしくは外部 DC アダプター<br>*バッテリー寿命：40 時間<br>(チューナー使用頻度により変動)<br>*適合アダプター規格：電圧 7.5VDC 以上<br>12VDC 以内、電流 100mA 以上<br>(もしくは 1W) センターマイナス仕様<br>*アダプターは、商品に含まれておりません。 |
|           |                                                                                                                                                                                                        | 寸法：          | 19.4(W) x 19(D) x 3.8(H)cm                                                                                                                                        |
|           |                                                                                                                                                                                                        | 重量：          | 1.1kg                                                                                                                                                             |



## フロントパネル

### A bass ベース

低音域の調節です。90Hz を中心とした 12dB のブースト／カットができます。

### B mid low ミッドロー

中低域の調節をします。midlow ノブとその下にある tune ノブの2つで一組です。上側の midlow ノブはレベル調節を行い、下側の tune ノブは中心周波数を調節します。まず、下の tune ノブで中心周波数を決定し（100Hz から 500Hz の間で調節できます）、それから上の midlow ノブでブースト / カットを行います。

### C mid hi ミッドハイ

中高域の調節をします。ミッドローと同じく、midhi ノブとその下にある tune の部の2つで一組です。まず、下の tune ノブで中心周波数を決定し（500Hz から 2.8KHz の間で 調節できます）、それから上の mid hi ノブでブースト / カットを行います。

### D presence プレゼンス

高域の調節です。3KHz を中心とした 12dB のブースト／カットができます。

### E treble トレブル

最高域の調節です。10KHz を中心とした 12dB のブースト／カットができます。

### F notch ノッチ

Veune D.I.には我々独自のGarrett Nullアンチフィードバックノッチフィルターが備わっています。音的には変化が見えませんが、フィードバック（ハウリング）やリングング（ある音だけが大きく鳴る現象）を起こしている周波数（60Hz から 320Hz の間で調整）のみをカットし、アコースティックギターのフィードバックを軽減します。この機能はオフにもできます。ノブを反時計方向に、カチッと音になる off の位置まで回すと、この機能は信号から完全に切り離されオフになります。

<使い方>

まず、ギターを Venue D.I. とアンプにつなぎ音を出しながら、フィードバックが起き始める場所、あるいは他の音に比べて鳴りすぎる音などを探ります。その現象が起きているのを確認しながら、notch ノブを左から右に少しずつ回していきます。問題のある周波数に合致すると、フィードバックが突然止まります。

### G clip クリップ

このクリップメーターを使い、楽器からの入力ゲインが適切かどうかを目で判断できます。普通に弾いた時に黄色の LED が点灯し、最も強く弾いた時、瞬間的に赤色の LED が点灯するぐらいが、程よい入力レベルです。

### H gain ゲイン

このゲインで信号を適切なレベルにすることは、良い音質を得るための最も重要な要素の一つです。ゲインが低すぎると音質に悪影響が出て、ノイズがかぶりがちになります。逆にゲインが高すぎると音が歪んでしまいます。クリップメーターを見ながら適正レベルにしてください。

<ゲインを正しく調整する方法>

まず、ゲインノブを一番左に回してください。ギターを弾きながらノブを回していき、最も強く弾いた時に赤の LED が時々点灯する処まで上げて下さい。普通に弾いて赤の LED が常に点灯するようだとレベルが上がり過ぎで、その状態では、出ている音が歪み初めているのが聞こえるはずです。クリップメーターは、信号がイコライザーを通った直後、エフェクトループの直前の信号を感知しています。イコライザーを調節した時は、レベルも調節し直して下さい。

### I phase フェイズ

このボタンを押すと、信号の位相が反転します。通常はどちらかの位相の方が音も良く、フィードバックも起こしにくいようです。演奏する場所ごとに、どちらの位相が良いか試してみてください。ボタンを押し込んだ状態で逆相、ボタンが上がった状態で、正相になります。ギタートップの鳴りとモニタースピーカーとの位相関係は、だいたい 1.2m 間隔ごとに変わります。演奏する位置に立って、どちらの位相が良いか確認するのが良いでしょう。

### J batt chk バッテリーチェック

バッテリーチェック機能を使い電池の残量がどのくらいなのかを確認できますので、ステージの途中で慌てずに済みます。バッテリーをチェックするには、この battchk と書かれたボタンを押します。4 つの LED が全て点灯した時は、バッテリーは十分あります。黄色と赤色の LED の2つのみが点灯する時は、バッテリーの残りは通常の使用において残り4時間ぐらいです。赤色の LED のみが点灯するようでしたら、バッテリーが切れかけていますので、すぐに交換して下さい。バッテリーチェックは、本体にケーブルを接続していない状態でも作動します。

注）外部 DC 電源を使用している時は、バッテリーチェックは外部電源のレベルを示します。バッテリーの残量を調べる時は、外部 DC 電源のプラグを Venue D.I. 本体の DC インプットジャックから抜いて下さい。

### K tuner チューナー

入力信号に対してチューナーが働きます。mute・tune フットスイッチを踏むことでチューナーが機能し、同時に出力信号がミュートされます。この状態の時にギターを弾かない状態が一分続くと、バッテリーの浪費を防ぐためにチューナーが自動的にオフになります。ただし信号自体はミュートされたままです。再びチューナーを起動する時は、いったん mute・tune フットスイッチを踏み、ミュートを解除してから、もう一度 mute・tune フットスイッチを踏んで下さい。

### L vol ボリューム

全体の音量を調節するマスターボリュームで、本体 Output ジャックからの出力に対してのみ働きます。一方 D.I. アウトからの出力はラインレベルに固定されており、このボリュームには影響されません。したがって D.I. アウトから P.A. に送る音量を変えることなく、手元のアンプの音量を調節することができます。ただし、mute・tune フットスイッチを押すと、どちらのアウトプットもミュートされます。

### M mute・tune ミュート／チューン

チューナーおよびミュート機能のオンオフスイッチです。詳しくは tuner の項目をご覧ください。

### N boost(0-9dB) ブースト

ブースト機能で音量を一定量上げることが出来ます。ソロの時や奏法の変化などに合わせて使い分けて下さい。フットスイッチを押した時にどのくらいブーストするかは、本体後側にある boost 0-9dB ノブで調節できます。

注）ブースト機能は、信号がクリップメーターを通った後の信号に対して機能しますので、ブーストされた状態でもクリップメーターのレベルは変わりません。接続するアンプや PA をセッティングする際は、ブーストされた音が許容量を超えないよう気をつけて下さい。